

広島大学短期交換留学プログラム 派遣留学報告書
HUSA (Hiroshima University Study Abroad) Program Report

記入日/Date						2025 年 4 月 1 日(YYYY/MM/DD)					
ふりがな 氏 名 / Name		■■■ ■■■ ■■■ ■				学生番号/ Student ID					
						■■■■■					
本学での所属学部・研究科 School/Graduate School at HU		総合科学部総合科学科 School/Graduate School								3 年次(Year) (留学開始時点(When Started))	
派遣プログラム Name of Program		☒ HUSA ☐ USAC									
留学先大学 Host University		ビルラ科学技術大学ピ ラニ校 (国名/Country：インド)									
所属学部・学科等名 School/Graduate School at Host		特定の学部、学科には所属しませんでした									
在籍身分 Status at Host University		Exchange Student (ex. Exchange Student, Special Auditing Student)									
留学期間 Period of Program		2024 年 8 月 6 日 ~ 2025 年 3 月 20 日 (YYYY /MM/ DD) (YYYY /MM/ DD)									

1. 留学するまで / Preparation for the Program

留学への志望動機・派遣先大学を希望した理由 Purpose of Study / Reason of Host Choice	2023 年の Agile Summer Program への参加を通して、留学先大学の学生と協働したことで志望度が高まりました。また、自分自身の専門分野を英語で学ぶことを通して、将来の就労や研究に活かしていきたいからです。
留学準備を始めた時期（応募する何か月前ですか？） Commencement of Preparation for Application	6 ヶ月前
事前準備について(どのような準備をしたか、しておけばよかったか) Preparation Completed Prior to Study Abroad	インド英語に重点を置いた英語学習、専門分野の基礎の勉強、ビザの取得、各種肝炎や狂犬病のワクチン接種を事前準備として行いました。 専門分野の基礎学習は英語で行ってれば、現地での学習がさらにスムーズに行えたと思います。ワクチン接種は期間を開けて接種しなければならないので、計画的に行う必要があります。ビザの取得は複雑で、特にオンライン申請がこれ以上悪くできないほどの最悪具合なので、できるだけ早めに取り掛かるべきです。

2. 渡航について / Visa and Flight Information

ビザについて Visa	ビザの種類 / Visa Type：学生ビザ
	ビザ申請先 / Location of Visa Application：在大阪インド総領事館
	提出書類 / Required Documents：パスポート、受け入れ許可書、英文預金残高証明書、ビザ申請書、ビザ用写真
	手続きに要した日数 / Duration of Visa Application Process：1 ヶ月
その他必要な事前手続き Other Required Procedures	滞在日数が 180 日以上の場合、入国後 2 週間以内に外国人登録が必要になります。 (記入時時点の情報です)
出国年月日 / Date of Departure	2024 年 8 月 6 日 (YYYY / MM / DD)
経路(往路) / Route (Outward)	広島⇒東京⇒デリー

現地での出迎え Pick-up Service	☒ 有/Yes (大学関係者/Univ. Staff • ☒ その他/Others(大学手配のタクシー)) ☐ 無/No	
到着後オリエンテーションの有 無・期間・内容 Orientation, Period, Contents	☐ 有/Yes	有の場合 期間/Period : _____ - _____ (If Yes) 内容/ Indicate Content Covered during Orientation
	☒ 無/No	
帰国年月日 / Date of Return	2025 年 3 月 21 日 (YYYY /MM/ DD)	
経路(復路) / Route (Return)	デリー⇒香港⇒広島	

3. 留学費用について / Expenses				
支出額 / Expenses	総額 Total Amount	515,500		円/yen
	内訳 Details	渡航費(往復) / Flight Ticket (Round Trip)	0(Agile Program からの支援)	円/yen
		ビザ申請手数料/ Visa Application Charge	1,500	円/yen
		予防接種費用 / Immunization Charge	40,000	円/yen
		保険料 / Travel Insurance	80,000	円/yen
		教材費(授業料以外の学費) / Learning Material (Extra Tuition Fee)	0	円/yen
		宿舍費(住居費) / Accommodation Fee	60,000	円/yen
		光熱費 / Utility Cost	0(宿舍費に含まれる)	円/yen
		食費 / Meal Cost	80,000	円/yen
		通信費(インターネット・携帯) / Internet, Phone	4,000	円/yen
		交通費(宿舍ー大学間) / Transportation (Accommodation ~ Univ, Campus)	0	円/yen
		交際費 / Social Expenses	250,000	円/yen
		その他 / Others (費)		円/yen
		(費)		円/yen
(費)		円/yen		
4. 授業・修学について / Courses and Study				
授業の概要について(カリキュラム, プログラム, 履修した科目, 時間数, 履修形態等) / Brief Description of Courses (Curriculum, Program, Registered Courses, Study Hours, Course Style)	Computer Science 学部開講の授業をメインで、自分の興味のある授業を受講しました。どの授業も基本的に自由に履修登録することができます。履修した科目は以下の通りです。 第1 セメスター(2024 年 8 月〜2024 年 12 月) ● Deep Learning ● Foundation of Data Science ● Game Theory ● Optimization ● Shrimad Bhagavad Gita ● Indian Classic Music (Instrument) 第2 セメスター(2025 年 1 月〜2025 年 5 月(セメスター途中で帰国)) ● Generative AI ● Introduction to LLM ● Quantum Computing ● Computer Networks			

	全ての授業で1時間×週3回の週3時間で、講義形式は教授が多く話す日本に似た形式になっています。ほとんどの授業で問題演習や実習の時間も通常授業とは別で週2時間あります。
単位互換希望の有無 / Credit Transfer from Host to Home University	☒ 有/Yes ☐ 無/No
授業・勉強についてのアドバイス（留学前の履修、留学中、単位取得等） / Advice for Class and Study (Before and During Study Abroad)	留学前は専門の科目の単位を取りつつ、英語で開講されている授業を積極的に参加すると現地での授業参加が楽になると思います。 ビルラ科学技術大学では出席点という概念は無く(他のインドの大学ではあるそうです)、試験と課題によって成績が決まります。そのこともあり、授業に参加せず、他のこと(起業など)に取り組む学生は少なくありません。 単位を取得するためなら授業参加は必須ではないですが、私は知識を身につけるためにも出席していました。参加するメリットとして、稀に教授とのマンツーマンレッスンになったり、教授からの印象も良くなったりするというものがあります。また、テスト勉強も楽になります。勉強するための授業資料や過去の試験問題は「StudyDeck」という学生が作ったアプリにまとめられています。振り返りやテスト勉強に活用しましょう。 授業を休んでもペナルティは基本的に無いので、他の学生と起業などのプロジェクトに参加するのも良いかもしれません。
日本と異なる授業形態などにおける困難や挑戦（ティーチングスタイル・先生と学生の関係性など） / Difficulties and Challenges Faced in Classes Different from Japan (Teaching Style, Relationship with Professors/Lecturers)	授業は全て英語で開講ですが、最初の頃はインドアクセントの英語の聞き取りに手こずりました。先生が話しているとき稀にヒンディー語が出てしまう時があり、その時は大体なにか面白いことを言っているようで他の学生が笑っているのにも関わらず、自分は友達に説明を受けないと笑えないという状況が毎回悔しいです。日本と似た授業形式であるのに対して、学生からの質問は活発なので、授業が途中で止まることが多々あります。

5. 生活等について / Lifestyle

（１）留学先の住居について / Accommodation

住居の種類 Type of Accommodation	☒ 大学の寮 / University Dormitory ☐ アパート / Apartment ☐ その他 / Others ()		
住居の広さ Size of the Room	約/approximately 30 m ²	同居人の有無 Roommate(s)?	☐ 有 / Yes (人/People) ☒ 無 / No
住居に附属する設備 Facilities in Accommodation	☒ 電気/ Electricity ☐ ガス/ Gas ☒ 水道/ Water ☒ 給湯/ Hot Water ☒ シャワー/ Shower ☐ 風呂/ Bathtub ☒ 水洗便所/ Flushable Toilet ☐ 暖房/ Heating ☒ 冷房/ Cooling ☐ 台所/ Kitchen ☐ 食堂/ Dining Room ☐ 固定電話/ Land-Line Phone ☒ インターネット/ Internet ☐ その他/ Others ()		
住居費 Accommodation Fee	1ヶ月当たり/ per month 4000 Rs. (現地通貨/ local currency)		約/ approximately 7000 円/yen
留学先での住居全般に関するアドバイス Accommodation Advice	お湯は給湯器のスイッチを押してから30分程度してから出始めます。		

（２）医療について / Medical Care

保険の加入先 Insurance (Who Designated)	☒ 本学指定の保険 / Hiroshima University ☐ 留学先大学指定の保険 / Host University ☐ その他 / Others ()
保険の補償内容 Insurance Coverage	補償額 / Coverage 死亡 / Death 円 / yen, 入院 1 日 / per day of Hospitalization 円 / yen その他 / Others ()
留学前後での予防接種の必要の有無 Immunization Requirement	☐ 有 / Yes (種類 / Acquired Immunizations : , 医療機関名 / Location of Immunization :) ☒ 無 / No (予防接種は必須ではないですが、自己判断で A 型肝炎、B 型肝炎、狂犬病の予防接種をしました。医療機関名 : 上田循環器/八丁堀クリニック)
留学先国の医療事情 (日本と比較して) Difference in Medical Service (Compared to Japan)	デリーやムンバイなどの都市部の方に行けば大きな病院もあり、医療環境が比較的整っています。しかし、大学周辺には大きな病院はあまり無く、簡単な処置しか出来ません。
留学先での健康管理、衛生面について特に注意すべきこと Healthcare and Hygiene	最初の頃は料理のスパイスや油でお腹を壊す可能性があります。留学前、留学中に胃腸を鍛えましょう。某カレーチェーンの 20 辛など日本の辛さとは違う方向性の辛さもある気がするのですが、日本で辛いものに慣れていても油断大敵です。キャンパス内外には犬や牛など多くの動物が居るので、噛まれたりされないように注意する必要があります。
(3) 危険を感じた地域、状況、安全管理において注意したこと / Dangerous Situations and Locations Encountered, Possible Advice for Risk Management	
危険を感じた地域は特にありませんでした。キャンパス内では夜でも比較的安全で深夜にレストランに行ったりも出来ますが、旅行先などでは安全管理のために夜の外出は控えました。	
(4) 食生活についてのアドバイス / Food – Related Advice	
食生活はスパイスがメインの生活で、すぐにスパイス慣れすると思います。ベジタリアンの方が多いこともあり、食堂はベジタリアンメニューがほとんどです。食堂では週に 1、2 回鶏肉が出るがありますが、ベジタリアンメニューの種類も豊富なので、お肉無しでも生きていくことができます。ベジタリアンメニュー中心のインドの食事は野菜満載の健康メニューのようなイメージがあるかもしれませんが、その健康さを打ち消すほどの油と溢れる炭水化物、極甘スイーツが揃っているため、健康管理には気を付けてください。インド料理でのおすめは南インド料理のドーサです。 万が一、インド料理に飽きてしまった場合はインドスタイルの中華料理がおすすめします。インドのチャーハンは少し辛いですが、かなり美味しいです。自炊する環境はあまり整っていないため、おすすめしません。 衛生面に関して不安になることもあると思います。その点についてはキャンパス内で食事をしている限りほぼ安全ですし、キャンパス外の食べ物に関しても慣れます。私の場合、強健な胃腸を持っていたかもしれませんが、最初の食事で調子が悪くなった時以外問題ありませんでした。それでも、万全の対策と準備はしておいた方が良いでしょう。	
(5) 気候・服装についてのアドバイス / Advice on Local Climate and Clothing	
冬(11 月～1 月)以外は基本的に半袖で過ごすことが出来ます。冬の間は上着が必要になる程度の寒さになり、就寝時も毛布が必要です。	
(6) 学内外の施設・設備環境について (インターネット環境含む) / Available Resources (Library, Cafeteria, Campus Wi-Fi, etc.)	
多くの授業で使われている教室は新しく建てられたもので、基本的には快適に授業を受けることができます。いくつかの不遇な授業では古い教室が使われるため、少し歴史を感じる場所で受講することになりますが、十分整備されています。 コンピュータサイエンスにも力を入れている大学であることもあり、そこそこの性能のパソコンを使うことが出来る環境も整っています。キャンパスは 1 つの町のようになっているので、スポーツ施設や寺院、レストラン、スーパーマーケットなどがあり、生きていく上で困ることはありません。インターネット環境については、速度は問題ありませんが、頻繁にログインを求められるので利便性は良くありません。 キャンパス外にもカフェや寺院があります。外に出ると、車が多く行き交うようになるので気を付ける必要があります。	

(7) 現地学生や地域との交流について (どのような、機会・きっかけがありましたか?) / Communication with Local Students and People (Available Opportunities?)	
私が留学中は大学院に南アフリカとネパールからの留学生が1人ずついましたが、ビルラ科学技術大学ではほとんど留学生が居ません。そのため、授業の際や食事している際に現地学生から話しかけられることが多かったです。授業以外にもバトミントンやテニスなどのスポーツやサークルで出会うこともありました。1人と仲良くなると芋づる式でどんどん紹介されていくので、キャンパス内で一番有名な学生になることは容易です。	
(8) 習慣やマナーの違いによる対人関係等、注意すべきこと / Care and Attention regarding Customs and Manners	
左手で物を渡すと無礼にあたったり、右手で食事することがマナーになっていたり、左手を使う際は注意が必要です。インドにおける敬意を示す方法として、挨拶の際に相手の足に触れるというものがあるので、目上の人と会う際に使うことが出来ます。インドではヒンドゥー教や仏教を含めた様々な宗教があり、それぞれの宗教やそれぞれの寺院のルールを理解しておく寺院を訪れる際などに便利だと思います。 ベジタリアンである人も多く、牛は神聖な動物とされているので、牛肉や豚肉について言及することは控えた方が良いでしょう。鶏肉を食べる人は比較的多く、容認されている雰囲気もありますがそれでも注意が必要です。	
(9) 日本から持っていくべきもの、持っていくべきでないもの / What Should You Bring? What Should You NOT Bring?	
北インドの冬はちゃんと寒いので、防寒具を持っていくべきだと思います。お手拭きシートや除菌シートはあればあるほど良いです。また、日本の料理を簡単に作れるもの(ちらし寿司の素など)を持っていくと、日本料理を振り舞いたい時に便利です。 体育館で履くような室内用シューズは必要ありませんでした。	
(10) その他生活等に関して参考となる情報・アドバイス / Other Useful Information and Advice about Life Abroad	
・言語について 学生や教授とは英語で話すことが出来ます(英語で話した方が楽という人も居ますが)、キャンパス内の事務の方やキャンパス外の人の中にはヒンディー語をはじめとする母語のみを話す人も少なくありません。その際も、パッションと少しの勉強で意思疎通を図ることが出来ます。しかし、現地語を話せた方が生活も楽で、ぼったくり対策にもなるので、出来るだけ留学前や留学中に勉強しておくべきだと思います。インドには様々な言語があるのでとりあえず、北インドに行く際はヒンディー語を、南インドに行く際はタミル語を少しでも勉強しておくのがおすすめです。 インドアクセントの英語に関しては、徐々に慣れていきます。インドアクセントといっても多様で、その人の母語によってアクセントにも特徴が出てきます。母語の発音の特徴について知ればアクセントの強い英語も聞き取りもしやすくなるため、英語の聞き取りのためにも現地語の学習がおすすめです。 ・現地でのノリについて インドでのお食事会やパーティーでは歌を歌ったり、ダンスを踊ったりする機会が多かったです。強要されることはありませんが、日本語やヒンディー語の歌や日本やインドの伝統的なダンスを踊ることが出来ると場を盛り上げ、親睦を深めることも出来ます。インド渡航前に十八番の歌やダンスを練習しておけば、いざという時にかなり役立ちます。私のおすすめは、「インド国歌」や日本が登場する歌「Mera Joota Hai Japani」、有名インド映画のダンスをやってみることで、インドの方々の中にも踊ることや歌うことに苦手意識がある方もいるので、ハラスメントはやめましょう。万が一、歌い、踊らされた場合はきっぱりと断るのも大切です。 ・UPIについて インドでのQOLを左右するものとしてUPIというインドのQRコード決済システムがあります。UPIはインドの隅々まで行き届いており、オートリキシャやそこら中にある屋台、有料公衆トイレなどほとんどの決済がUPIで行われます。これは、基本的にインドの銀行口座を持っている人しか使うことが出来ませんが、外国人用の決済アプリもあり、それを使えば個人送金以外の決済をすることが出来ます。ただ、外国人用決済アプリを使い始める際は対面での認証が必要となり、デリーやジャイプールといった都市に行く必要があります。それでも、UPIを使えるようになると生活の質は700倍になるので、手間を惜しまずなるべく早く使えるようになることを強くお勧めします。	

6. 帰国後の進路について / Your Career After Study Abroad

卒業予定年月	2026 年 / year 3 月 / month
Expected Graduation	(当初の卒業予定年月 / Expected Month and Year before Studying Abroad)
Month and Year	2026 年 / year 3 月 / month)

卒業が遅れる見込みの場合、その理由 Reason for Extension of Graduation Month and Year?	☐ 4年次に留学したため / Participation in HUSA during 4th Year ☐ 単位不足のため / Amount of Credits ☐ 新卒で卒業するため / In order to graduate as a "new" graduate ☐ その他 / Others (具体的に / Specific reason:)
現在の状況および今後の予定・進路等 Current Situation, Plan and Career	大学院進学
就職活動や留学前の単位取得、教育実習等についての工夫 Pre-arrangement by yourself for your future job hunting, acquisition of credits of required courses and practicum, etc.	私は総合科学部総合科学科に所属していることもあり、計画的な授業履修によって3年生前期終了時点で、卒業研究以外の全ての必要単位を取得することができました。この方法はかなりパワープレイで2年生時の履修が大変なことになってしまいましたが、4年生になった際に卒業研究や大学院入試対策、就職活動などに時間を割くことが出来ます。このような極端な履修方法ではなくても、なるべく多くの単位を取っておけば良いと思います。 また、奨学金の取得のために出来るだけ良い成績になるように意識しました。

7. 留学準備、留学中に役立った書籍、ウェブサイト等 / Useful Books and Website for Study and Life Abroad

書籍、サイト名 Name of Book or Website	詳細（出版社、URL 等） Details (Publisher, URL etc.)	コメント Comments
在大阪インド総領事館 Web サイト	https://indconosaka.gov.in/	様々なウェブサイトでビザの取得方法が載っているかと思いますが、方法が変わっていたり、間違っていたりするので一次情報にあたるのが一番手取り早いです。
書いて覚えるヒンディー語の文字	白水社	ヒンディー語の文字（デーヴァナーガリー文字）を知らなくても生きていくことは可能です。しかし、街中にある文字を読むことが出来たらテンションが上がります。ヒンディー語教材ならこの書籍でなくても良いと思います。
深夜特急 3—インド・ネパール—（沢木耕太郎 著）	新潮文庫	有名な紀行小説のシリーズの一つで、コルカタやバラナシなどの都市を旅した際の様子が描かれています。これを読むと、登場する都市に列車で行ってみたいくなり、実際に訪れた時の感動も12割増しです。書かれた時期が少し前なので、本での様子と現在の状況にずれもありますが、それもまた一興です。
英文 日本絵解き事典	JTB パブリッシング	日本の文化について英文で紹介されている本のシリーズです。名前にある通り挿絵があり分かりやすく、日本の文化について分かりやすく説明したい時に使えます。また、自分が日本の文化だと認識していなかったことが掲載されていたり、英語でどのように説明すれば良いのかが分かたりと、読み物や英語教材としても楽しめます。

8. 後輩へのメッセージ / Message for Outgoing Students who Desire to Study Abroad

何かあっても私は責任取れませんが、ガンジス川での沐浴はかなり楽しく、美味しいです。今すぐインド留学してください。

9. 自由記述（日本語・1,200 字程度） / Feedback (English about 600 words)

- 以下の点を踏まえ、記述して下さい。 / Please give your feedback including the following points:
 - ① 留学を終えての所感 / Please describe and evaluate your study abroad experience briefly.
 - ② 留学期間中、最も印象に残った体験・出来事 / What was the most impressive experience in your study abroad experience?
 - ③ 留学の成果、留学前と比較して成長した点 / What is your achievement through the study abroad experience?
 - ④ 今回の留学での経験や成果を今後どのように活かしたいか(将来のキャリアパスも含めて) / How do you want to make use of your study abroad experience in the future including your career?
- 写真を2〜3枚程度、貼り付けてください(写真1枚当たりの容量は、500KB以下に縮小して下さい)。
Please add 2-3 photos (within 500 KB per a photo).

留学を終えて、私の留学は「やりたいこと全部やる留学」であったと感じています。留学のメインの目的である留学先の大学で専門分野を学ぶということはもちろん、以前から興味を持っていたインド哲学の授業に参加し、全く新しいものとしてインドの伝統的な楽器の授業にも挑戦してみたり、留学先大学の研究室でのインターンシップで現地の博士課程の学生と論文を書いてみたりと、やりたいことに全て挑戦できる恵まれた留学環境でした。その環境を無駄にせず、とりあえずやってみる精神で様々なものに手を出し、成果もある程度出すことが出来たと感じています。この留学を通して、「やりたいことはすぐに行動し、他の人からのサポートも積極的に受ける」という姿勢を身につけた点が大きな成長の1つであると感じています。以前は自分一人で全てを完遂しようと固執していた私ですが、留学中に他の人に頼らざるを得ない状況を多く経験し、現地の友人や教授、困難を喜んで助け合う現地の人々と触れ合うことを通して、他人に頼ることやすぐに行動に移すことの大切さと、その恩恵を実感できました。

留学中で特に印象に残っているのは、大学では学費の高さゆえに経済的中間層以上の学生が多く集まる一方、キャンパスから出てみると、路上で生活する人々も少なくないという対比を目の当たりにしたことです。また、インドでは宗教が日常生活の隅々にまで根付いており、公共の場や街角、商店などあらゆるところで宗教的な儀式や祭りの光景に触れる機会があったため、宗教と人々の生活が密接に結びついていることを強く印象付けられました。

今回の留学では、研究インターンシップで現地の学生と協働したり、インド特有の様々な困難を他の人からの支援を受けつつ乗り越えたりと、貴重な経験を多く得ることができました。研究インターンシップでの経験は、今後大学院に進学して研究内容を社会に還元するキャリアパスを目指す上で大きな糧となり、留学期間中に得た知識や経験、そして多様な人々との出会いや困難を乗り越えた体験は、今後の研究活動だけでなく、将来の人生全般においても役立つと確信しています。この留学で培った柔軟な発想や協働の精神、そしてすぐに行動に移すという姿勢を活かし、今後はより多くの人々と連携しながら、世界に貢献できる社会の一員として更に成長していきたいと考えています。

